

“日本一紹介フレンドリーな病院”を目指します！

地域医療部長
赤尾昌治

病院の顔として、親しみやすく笑顔で対応します

2024年4月より、地域医療部長を担当しております赤尾昌治（循環器内科）です。この度、当院では地域連携室をいっそうパワーアップし、これまで以上にご紹介いただきやすい体制を整え、「日本一紹介フレンドリーな病院」を目指してまいります。

まだまだ課題は山積みではございますが、必ず実現してまいります。地域の医療機関のみなさまには、一層のご支援をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



医療機関からのご紹介について（24時間受付）

● 後日の予約をとりたい

紹介予約ダイヤル
075-641-9260
（平日9時～13時）

紹介予約 FAX
075-643-4361

● 当日中に診てほしい

当日紹介ダイヤル
075-606-2070

● 診療科医師と直接話したい

診療科ホットライン

循環器 075-606-2071
脳卒中 075-606-2192
産婦人科 075-606-2076

地域連携室へのお問合せ（平日9時～17時）**0120-06-4649** 退院支援：075-606-2096

こちらは医療機関限定の番号です。患者さん、ご家族のかたは、当院代表075-641-9161におかけください。

① 2つの窓口（紹介予約ダイヤル/FAX、当日紹介ダイヤル）で ご紹介を受け付けます！

紹介予約ダイヤルは診察予約のみです。検査予約（CT/MRIや内視鏡など）はFAXをお願いします。FAX依頼票は当院ホームページからダウンロードしていただけます。

② 受診されたら、当日にご報告します！

③ ご紹介時に足りない情報があれば、こちらで補います！

④ 同意書（造影CT／造影MR検査と内視鏡検査）は 当院で取得します！

造影検査では、腎機能データは必ず事前にお知らせ下さい。

⑤ ご意見受け付けメールを開設しました！

苦情、提案、質問など、なんでも送って下さい。必ず部長が目を通します。



地域連携室 3つのモットー

地域連携室は、以下の3つのグループに分かれて、日々心をこめて活動しています。各グループのモットーをご紹介します。

① 紹介予約

- 迅速・丁寧な対応を心掛けます
- FAXは15分以内、電話はその場で返事いたします

※ 休日明けの午前や、ご紹介される診療科によっては、多少お時間を頂戴する可能性があります

② 当日紹介

- 地域の医療機関との架け橋になります
- 丁寧な電話対応を心掛けます
- 当日の救急受診や転院依頼もこちらで承ります

③ 退院支援

- つながる医療、キーワードはフレンドリー
- 「適切な医療を、適切な場で」患者さんのゴールを目指して私たちが支援します

京都医療センター 無料巡回バスのご案内 平日のみ30分間隔で運行

京都医療センター 発

時間	近鉄・地下鉄竹田駅 行き	時間	JR藤森駅 行き
8	30	8	10 50
9	5 35	9	25 55
10	5 35	10	25 55
11	5 35	11	25 55
12	5 35	12	25 55
13	5 35	13	25 55
14	5 35	14	25 55
15	5	15	

JR藤森駅 発

時間	京都医療センター 行き	時間	京都医療センター 行き
8	20	8	00 40
9	00 30	9	15 45
10	00 30	10	15 45
11	00 30	11	15 45
12	00 30	12	15 45
13	00 30	13	15 45
14	00 30	14	15 45
15	00	15	

近鉄・地下鉄竹田駅 発

時間	京都医療センター 行き	時間	京都医療センター 行き
8	00 40	8	00 40
9	15 45	9	15 45
10	15 45	10	15 45
11	15 45	11	15 45
12	15 45	12	15 45
13	15 45	13	15 45
14	15 45	14	15 45
15		15	

※運行は平日のみです（土曜・日曜・祝日は運休）

※原則、30分間隔で運行しますが、交通事情などにより若干のずれが生じることがあります。特に、午前中や悪天候の場合は10分～15分程度の遅れが生じやすくなっております。巡回バスの遅延により外来予約時間に間に合わない場合があっても、当院は責任を負いかねます。予めご了承ください。

※巡回バスは京都医療センターを受診される患者さんのために運行しております。確認のため、診察券・紹介状等の提示を求める場合があります。

※定員に達し、乗車できない場合があります。

KYOTO MEDICAL CENTER

NEWS LETTER 2025

京都医療センター
広報誌
特別号外版

この街の医療をささえる

京都医療センターは長い歴史と伝統を有し、地域に根差した基幹病院として救急医療や急性期医療、がん診療をはじめとした専門医療の充実を図ってまいりました。令和7年4月より病院執行部は新体制となりますが、この街の医療をささえるをモットーとして、当院は引き続き地域医療に貢献してまいります。伏見区周辺や京都府南部の病院やクリニックの先生方との緊密な連携は、この地域の患者さんに最適な医療を提供する上で不可欠です。今年度はより親しみやすい病院を目指した新たな企画もご紹介します。小池薫前院長のもとで推し進められた病院改革の成果を受け継ぎつつ、変化する時代の波に適応し、時には先取りする形で進化して、地域の方々のお役に立てるよう努めてまいります。

今後とも当院に対して変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

院長

川端 浩



独立行政法人国立病院機構 京都医療センター



独立行政法人国立病院機構

京都医療センター

National Hospital Organization Kyoto Medical Center

京都医療センター広報誌 特別号外版

発行日 2025年4月30日

発行元 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 広報戦略室
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1 TEL：075-641-9161（代表）



川端 浩

かわばた ひろし

院長
がんセンター長
(血液内科)

小池薫前院長の後任として当院の運営を担うこととなりました。近隣の病院やクリニックの先生方との緊密な連携を一層深め、地域の中核病院としての役割をしっかりと果たしてまいります。



麻酔科

東別府 直紀

ひがしべっぴ なおき

手術管理部長
麻酔科診療科長

ロボット手術やハイブリッド手術、無痛分娩など最先端の医療提供および緊急手術への24時間対応などで地域の皆様に貢献します。



膠原病・リウマチ内科

井口 美季子

いぐち みきこ

膠原病・リウマチ内科診療科長

リウマチ、膠原病患者さん一人ひとりのライフステージにあわせた最適な治療が提供できるように努めています。



頭頸部外科

安里 亮

あさと りょう

頭頸部外科診療科長

頭頸部がんに対して、光免疫療法、ロボット手術や放射線治療など、低侵襲治療から集学的治療まで、最新の治療を提供します。



心臓外科

白神 幸太郎

しらが こうたろう

副院長
医療安全管理部長
心臓外科診療科長

安全で質質な医療を地域に提供できるよう尽力します。患者さんにも、地域の先生方にも、困った時に頼りになる病院でありたいと思います。



糖尿病内科

小倉 雅仁

おくら まさひと

病棟管理部長
糖尿病内科診療科長
糖尿病センター長

糖尿病がある人を病院で、そして地域で支える手助けをしたいと思っています。糖尿病診療はかかりつけ医との連携が必須です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科

小泉 三輝

こいずみ みつてる

血液透析センター長

当院は維持血液透析は施行しておりませんが、初回導入期や急性期や手術が必要な患者様の血液透析を、各診療科と協力しながら行っております。



腫瘍内科

宇良 敬

うら たかし

腫瘍内科診療科長

当科はがん治療紹介のためのゲノム検査外来も行っています。がん治療参加希望があれば、お問い合わせください。



総合内科

小山 弘

こやま ひろし

副院長
教育研修部長
総合内科診療科長

地域医療と病院とのインターフェースになります。当科宛ての紹介のみならず、どの診療科に相談するか悩まれる場合も総合内科に声をおかけください。



腎臓内科

瀬田 公一

せた こういち

外来管理部長
腎臓内科診療科長

患者さんとその家族、地域の医療関係者、当院の職員、みんなにフレンドリーな外来を目指します。



整形外科

山田 茂

やまだ しげる

統括診療部長
整形外科・リハビリ診療科長

私達が手術で本領を発揮できるのも、地域の診療所、病院の先生方から患者さんをご紹介いただいているおかげです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科

谷澤 公伸

たにざわ きみのぶ

医事管理部長
呼吸器内科診療科長

「肺がんの医療センター」として、肺がんの集学的治療、治療に力を入れています。肺がん以外の呼吸器疾患でも、京都府南部の基幹病院として、専門医療を担います。



循環器内科

赤尾 昌治

あかお まさはる

内科系診療部長
地域医療部長
循環器内科診療科長

内科系の統括に加えて、24年からは地域医療も担当しています。25年から外来紹介の電話予約も開始するなど、地域連携室の機能を一層強化し、「日本一紹介フレンドリーな病院」を目指します！



泌尿器科

寒野 徹

かんの とおる

先進医療部長
泌尿器科診療科長

ロボット手術を含めた低侵襲手術を主体に、放射線療法や薬物療法を組み合わせた最先端の治療を提供できるよう心掛けています。



外科

畑 啓昭

はた ひろあき

外科系診療部長
広報戦略部長
外科診療科長

外科では、ロボット手術や拡大手術などの消化器悪性腫瘍手術を中心に良性疾患や緊急手術まで、確かな治療をチームメンバーで連携して担当しています。お気軽にお声がけください。



総合内科

小田垣 孝雄

おだがき たかお

感染制御部長
総合診療科・感染症科診療科長

診断困難例、多疾患併存例に適切にアプローチして治療に繋ぎます。また、院内感染を防ぎ安全な療養環境を提供します。



小児アレルギー科

浅井 康一

あさい こういち

小児アレルギー科診療科長

食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎や花粉症等の診療をしています。病気で苦しむ子供たちとそのご家族の支援に努めます。



病理診断科

森吉 弘毅

もりよし こうき

病理診断科診療科長

確かな病理診断を提供する事でチーム医療に貢献してまいります。持参標本の再評価も行ってまいりますので、ぜひご利用ください。



呼吸器外科

澤井 聡

さわい さとる

がん診療部長
呼吸器外科診療科長
呼吸器センター長

肺癌、縦隔腫瘍をはじめとした胸部疾患に対して、ロボット支援下などの低侵襲手術を含めた最新最良の治療を提供し、地域医療のニーズに応えて参ります。



医療情報部

中原 孝洋

なかはら たかひろ

医療情報部長

「医療安全は、正確な記録から」皆様の医療記録の正確な管理と運用で、患者さん、地域、医療スタッフを「情報」で繋ぎ、よりよい病院を目指します。



形成外科

海透 修子

かいとう しゅうこ

形成外科診療科長

形成外科は創傷(きず)を専門としており、その他、眼瞼下垂や皮下腫瘍、あざや変形などの治療を行っています。お気軽にご相談ください。



臨床工学科

片岡 剛

かたおか つよし

臨床工学科長

当科は機器管理において院内全ての部門と密接に関わり、Medical Engineeringのスペシャリストとして安全で高度な医療の提供に努めています。



救命救急科

趙 晃濟

ちょう こうさい

救命救急部長
救命救急センター長

地域に開かれた救命救急センターとして、また災害拠点病院および原子力基幹災害拠点病院として平時も有事の際もお役に立てる救急部門を目指して一同精進して参ります。



臨床研究センター

八十田 明宏

やそだ あきひろ

臨床研究センター長

臨床研究センターは、新しい治療の開発のための治験や、診療につながる臨床研究のサポートを通じて、病院の活性化に貢献してまいります。ご支援をよろしくお願い致します。



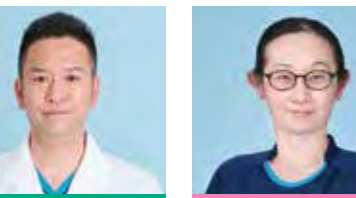
皮膚科

十一 英子

いちい えいこ

皮膚科診療科長

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌跖膿疱症、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹は重症度に応じて生物製剤の治療を行っています。



看護部

高田 幸千子

たかた さちこ

院長補佐
看護部長

私たちは、今年度、「最善の追求」として、患者さんの最善を考えた看護を提供することに全力を尽くしております。



救急科

笹橋 望

ささはし のぞむ

災害医療部長
救急科診療科長

災害医療に対するニーズが年々高まっています。当院では内外の災害訓練の実施と参加、災害拠点病院として一般災害のほか原子力災害や特殊災害(CBRNE)などに対応できる体制を整備していきます。



臨床研究センター

浅原 哲子

あさはら のりこ

内分泌代謝高血圧研究部長

内分泌代謝高血圧研究部長として20年来、糖尿病外来、肥満・メタボリック専門外来、遺伝診療外来等を担当。これからも地域医療に尽力します。



産婦人科

濱西 潤三

はまにし じゅんぞう

産科婦人科診療科長

より良く、丁寧な産科・婦人科診療をご提供できるように心掛けております。ご困りごとがございましたら、ぜひ当科にご一報をお願いいたします。



薬剤部

福田 利明

ふくだ としあき

薬剤部長

チーム医療の一員として薬剤師の立場から薬療法の適正化に貢献し、質が高く地域に必要なとされる医療提供ができるよう努めて参ります。



脳神経外科

福田 俊一

ふくだ しゅんいち

医療技術部長
脳神経外科診療科長
脳神経センター長

放射線・臨床検査・栄養・病理・臨床工学・リハビリなどの医療技術を通して良い医療を提供すべく努めております。脳外科は脳卒中や脳腫瘍治療に重点を置いています。



臨床研究センター

長谷川 浩二

はせがわ こうじ

展開医療研究部長

心血管危険因子の管理、特に禁煙に力を入れています。予防医学の普及と啓蒙ならびに情報発信を介して、国民の健康長寿と福祉に寄与していきたいと思います。